

記

【会名】 2020年度生物遺伝資源 国際ワークショップ

「カルチャーコレクションとバイオリソース機関の名古屋議定書対応」

【演題】 ・ ex situ コレクションにおける名古屋議定書/ABS 対応の課題 (仮)

・ コレクションにおける名古屋議定書対応：ドイツの微生物コレクション DSMZ の例(仮)

【講演者】 ・ 石田 孝英 氏 (国立研究開発法人 国立環境研究所 高度技能専門員)

生態学分野で学位取得後、スウェーデンでのポスドクなどを経て、
製品評価技術基盤機構(NITE)で微生物コレクションと ABS に従事。
現在は国立環境研究所で ABS 対応を担当。

・ Amber Hartman Scholz, Ph.D. (ドイツ微生物細胞培養コレクション DSMZ 副所長)
DSMZ が初の EU 登録コレクションとして認定されたことにチームリーダーとして貢献。
アメリカ科学技術政策局等での勤務から、科学政策において幅広い経験を持つ。
ジョンス・ホプキンス大学において、生物学の博士号を取得。

【日時】 2020年12月9日(水) 10:00~12:00 予定 (接続開始 9:00)

* 9:50 迄にご参加をお願いします。

【配信方法】 ウェビナー(ZOOM)

【視聴方法】 参加登録後に届く、登録完了メール等をご覧ください。

【事前質問】 参加登録時に、本会に関する質問をお寄せ頂く「質問とコメント」欄を設けております。
ご協力をお願いいたします。

【資料入手方法】 12月4日(金)午前11時にご登録のメールアドレス宛に、資料ダウンロード方法等をご連絡します。

【言語】 英語 (同時通訳あり)

【登録方法】 参加無料ですが、参加には事前申し込みが必要になります。

http://nig-chizai.sakura.ne.jp/abs_tft/2020/11/06/international_bioresource_workshop2020/
よりお申し込みください。

【登録期限】 2020年12月3日(木)午後5時まで。

申込期限前に受付を締切る場合があります。ご了承下さい。

以上